

福田守一



二、左側通行手近な報國（吾妻郡太田校増田久子）狭い歩道も注意は廣く（伊勢崎高女一年柳澤香子）

三、出すなスピード遊ぶな道で（伊勢崎町丸山しげ）清めよ道路守れよ左側（多野郡萬場町今井ふみ）出すな道路へ幼児と物件（ものを）（碓氷郡下仁田町島

鳥之郷校高三天笠末治）

二、ブレーキと心をしめよ交叉點（高崎市南校尋五秋山光義）小さい辻にも大きさ

な用心（前橋市城東校島崎弘）

三、あせらず正しく左側（伊勢崎南校尋六新井一郎）よこ道十字路飛び出すな

（北甘樂郡青倉校尋六佐藤もと子）横隊行進はけがの元（多野郡入野校高一山下勲）

五、藪塚本町前原利藏外十一名

竹雄

田勝太郎）

四、前橋木部長次、前橋高女薦美枝子、下仁田飯塚仁作、利根鈴木忠、富岡神戸

興工業地帯を貫流する鶴見川の改修工事起工式は十六日午前十時五十分鶴見川河口大

神奈川県下鶴見川改修起工式舉行

交通上にも多大の關係をもつ横濱市の新

山智枝、高崎森田正、碓氷宮口君子

黒町埋立地の式場で、小原内相、谷口技監、

飯沼神奈川縣知事をはじめ朝野の名士千五

群馬縣下の自動車協會と交通事故防止會とが協同して交通事故防止に便せんが爲めに募集した交通安全標語は、各署で豫選の上二千三百八十一句につき競選中であつたが二十八日次の如く入選を發表した（数字は等級）

小學生の部

一、向ふから來ると思へよ曲り角（新田郡

一般の部

一、握るハンドル銃撃の心（桐生市琴平町

百名が参列して舉行された。

橋の架換を斷行する方針に出づることとなつた。

山梨縣大菩薩峠開發道の改良要望さる

神奈川縣川崎市大師橋の竣工式舉行

東京と神奈川を結ぶ六郷川に架設された

大師橋の竣工式は十五日午前十時半から東京府、神奈川縣、川崎市、蒲田區の共同主催のもとに一千餘名の來賓を迎へて川崎側の式場で舉行され前政友會總裁鈴木喜三郎氏の實兄川島富右衛門氏(七二)一家三夫婦の渡初めがあり閉式、祝宴を催した。

北陸地方

新潟縣の橋梁架換の計畫

成る

新潟縣では明年度土木費豫算の根幹をな

す橋梁架換補強費は六十萬圓に達したので検討の上十七萬圓を補強費に當て四十三萬圓を以て明年度に重要幹線の腐朽橋梁約十

東山地方

石川縣下大聖寺吉崎間の道路改修

石川縣江沼郡大聖寺町から蓮如忌の吉崎御坊で知られた加賀の三木村吉崎にじたる準國道の縣道改修工事は昨年十月着工以來

大いに進捗、第一期工事に屬する大聖寺町穴蟲から三木村宇永井にいを延長三千メートルは工費四萬五千圓で十月中旬に竣工、引續き永井から吉崎に至る千四百四十メートルも工費二萬七千圓で着工、本年度中に竣工の豫定であるがいづれも有效幅員

三メートル五〇で從來の千鳥足道から最短距離をぬうて走る見事な直線的ドライヴ・ウェーに改修されつゝあるものである。同縣道は二萬三千五百四十メートルでありそのうち四分の二の里程である七保村田無瀬まで既に自動車道路が完成してゐる。また同道路を高月橋から脇岡村を經て七保

村田無瀬に至る町村道路開發も大月町脇岡村では熱望して居る。

大菩薩山麓をめぐる山林開拓は東京、郡

東京市小河池水源地建設に伴ひ東京府下

内、甲府地方の三方面から行はれるもので

居る。

丹波、猿橋縣道開發に東京側に對して盡力

してゐる。

岐阜縣岐阜市の中華忠節橋完成近づく

山梨縣下田府と身延とを結ぶ桃林橋竣工せんとす

甲府一身上間を結ぶ中巨摩郡忍村大田和地先、桃林橋は去る昭和十年九月の大洪水

によつて流失し、以來足掛四ヶ年間、幾多の不便を凌ぎつつ、幸くも一時凌ぎの假橋によつて交通を支へて來たが本年五月來、

總工費八萬八千圓を計上、延長二百四十五メートル（うち八十一メートルが木橋）に亘つて國策型、ボニー式木造構の架替工事に着手中であつたが、工事が意外に進んで

目下九分通りの完成を告げ近く竣工せんとすることとなつた。同木橋は縣下はおろか、日本、異數の新式國策型を誇るに足る

べきもので、鐵材も從つて使用皆無といふ

だけに落成の曉は同地方に於ける偉觀ともならうと評せられ其の開通が待望せられて

料をよせ集めてやつと完成頃日人馬、三十日から一般トラックの通行も許可した。この鋪装道路は將來高山市鋪装工事施行につ

いて雪と寒さにどの程度まで耐へ得るかを

試験するもので延長八十八メートル、巾七メートルこのうちを四種に分け第一は基礎

コンクリートに乳劑を鋪装、第二は二層式コンクリート、第三基礎碟を入れて一層

式、第四基礎なしで一層式としたものでコンクリートの層はいづれも十八センチ、これに要したセメント量は約五百袋である。

この道路が今冬の雪に埋もれてから明春四月に日光りを見るまでときには零下二十度の寒さにどの程度まで耐へ得るか大き

な興味を以て見られて居る。

岐阜縣高山の耐寒鋪裝路完成す

岐阜縣高山市内耐寒鋪裝道路の施工は、

去る九月一日に着工したが、セメントの配給難に逢ひながらも古川その他地方から材

東海地方

三重縣滋賀縣の縣道改修の遠進運動起る

伊勢と近江とを結ぶ三重縣々道四日市、八日市線の未改修區間十八キロの改修促進のため十一月十四日三重縣から上井土木部長、豊田道路、葛原監理兩課長、天春、林兩縣會議員、沿道關係市町村代表、滋賀縣側から三宅土木課長はじめ沿線關係町村長ら二十數名が實地踏査を行ひ、同夜湯の山で協議會を開き今後の實現運動につき協議した。實地踏査の結果は產業開發の上から速かに實現すべしと兩縣側の意見が一致し滋賀縣側はすでに一部着工してゐるので本縣としても根本問題である石榑峠をとか、八風峠をとるかを早急に決定、改修の促進を期することになつた。石榑峠は標高六百八十九メートル、八風峠は九百三十八メートルで工事は概して石榑峠の方が容易であるなどの關係から結局石榑峠の開鑿に決定するもやうで工費は百萬圓見當であると傳へらる。

伊勢と近江とを結ぶ三重縣々道四日市、

八日市線の未改修區間十八キロの改修促進のため十一月十四日三重縣から上井土木部長、豊田道路、葛原監理兩課長、天春、林

兩縣會議員、沿道關係市町村代表、滋賀縣

側から三宅土木課長はじめ沿線關係町村長

ら二十數名が實地踏査を行ひ、同夜湯の山

で協議會を開き今後の實現運動につき協議

した。實地踏査の結果は產業開發の上から

速かに實現すべしと兩縣側の意見が一致し

滋賀縣側はすでに一部着工してゐるので本

縣としても根本問題である石榑峠をとか、

八風峠をとるかを早急に決定、改修の

促進を期することになつた。石榑峠は標高

六百八十九メートル、八風峠は九百三十八

メートルで工事は概して石榑峠の方が容易

であるなどの關係から結局石榑峠の開鑿に

決定するもやうで工費は百萬圓見當である

と傳へらる。

近畿地方

滋賀縣琵琶湖畔の觀光道

改修終らんとす

滋賀縣琵琶湖の觀光ルートとしての湖周

道路は大正九年から改修がはじめられ、大

工事であつた海津、木之本間が昭和十一年

九月に竣工して以來狹小なる縣道の改修工

事が年々部分的に進められて居つたが本年

度中には大體改修工事を終ることになつ

た。

即ち最近竣工した大津福井線高月、木之

本間四キロ、これにつゞく賤ヶ岳トンネ

ル、鹽津間六キロ餘は竣工することになり

この工事の竣工とともに待望の今津、木之

本間の省營バスは實現し、これまた改修中

の坂本、雄琴間の工事も近く大體終了する

見込であり、縣道部分の湖周道路改良工事

は、工事完了をもつて大體眼鼻がつくこ

となつてゐる。湖西で未改修部分は雄琴、坂本間二キロ餘、木戸村南船路五百メートルでいづれも江若鐵道踏切前後の立體交叉

を要するものだが交通量と費用の點で着手してゐないものである。このほか川上、百瀬間二キロは近く工事に着手することになつてをり、湖西一帶の縣道は坂本、雄琴間

の改修工事をまち面目を一新する。湖北地

方は昭和十一年九月にできた海津大崎をめぐる湖邊の道路、月出一帶の山を縋ふドラ

イヴエーにトンネルを結んで鹽津まで完

全に竣工してゐたが舊道を使つてゐた鹽

津、賤ヶ岳トンネル間の改修工事完了をま

づて湖邊をゆく坦々たる道路が開ける。木

之本、米原間は有效幅員七メートル五〇程

度の道路がつゞくのが姉川をまたぐ橋梁

が鐵材統制のため着手できず虎姫村字唐國

と醉間一キロ半が未完成である。米原から

草津までは國道八號線を走ることになるが

この國道が改修された縣道に比べて問題にならぬほど悪い。鳥居本から草津まで十三里ほどの間五、六里ほどは改修の急を迫られてゐるといつてよい。悪い道路は鳥居本、老蘇、武佐、鏡山、篠原、守山谷町村關係の道路であつて、なかでも草津町内の東海道線と草津線の平面交叉は最悪のものとして交通の痛とされ、また國道東海道の草津町内、大津市内も交通上の最悪路といつてよく、湖周道路縣道部分の改修工事は大體本年中に完了しても國汽部分は要改修路線であり國費支辨の改修が要望されるのである。

兵庫縣の道路港灣綜合部 計調査の實施

兵庫縣下播州の工業的發展に備へるために同縣では明年度において道路港灣地方計畫（都計）の調査を施行することとなり所要費を豫算に計上したが、その内容は大體次の如きものである。調査費一萬五千圓をか

けて道路調査を行ふが道路は明石相生間六十キロの海岸沿ひの縣道を基本としたる幹線を設くる方針の下に實地の調査を遂げる。（幅員は七メートル乃至十八メートルとする）港灣の構築、海岸の埋立など同時に

和歌山縣下の道路に異状 あり

港灣調査を施行する経費は一ヶ年二萬五千圓を支出し二ヶ年で完了する。明石郡林崎、加古郡高砂町、揖保郡網干町の各町村を中心とした三地方に對し都市計畫上の綜合的調査を行ひ各都市計畫地圖を統合したる計畫を樹立する。この経費二萬圓である

右各調査の結果、具體的な成案を得れば漸次事業實施の計畫を立てその實現に向つて一步を進めんとする計畫である。なほ當局では但馬地方開發の目的で明年度から但馬における道路調査を行ふことになつた。

それは多年但馬地方から要望してゐる三つの路線すなはち豊岡、奥竹野、口佐津を經て島取に向ふもの、城崎から竹野に出る線、津居山から海岸線のそれぞれについて

擇して實地の計畫を確立するといふのである。

中國地方 島根縣下國道路線の變更 を企つ

島根縣下濱田町、長濱港間の山坂越えて

幾曲りも上下する不便な国道にかかるに海岸道路を新設しようといふ運動が濱田、石見、長瀬關係三ヶ町村によつて組織化され準備中であつたが、いよいよ縣から都市計畫係技術官の出張をえて基本調査をはじめることになつた。この聯絡道路は風景に富む海岸をぬうて約三キロ、幅員は国道よりも廣い八メートルといふ坦々たる大道路の計画でかねてから關係町村民の待望するところ、目下縣の手で基本調査中の長瀬商港築港計畫が實現のあかつきは濱田とその外港たる同船とを結ぶ産業道路として大いに面目を發揮しきれら三町村合併の生きた模にならうといふのである。しかも工費約二十萬圓は國道改良費から出してもらうやう運動する方針だがすでに内務省と一應のわたりはついてゐるといふのだから關係地方の期待は大きい。

廣島縣廣島市の國鐵地下道の擴張を要望す

廣島市山陽本線大洲地下道は現在延長七十五メートルもあるが、幅員約二メートル餘で近來工場地帶としてまた住宅地帶として同方面の素晴らしい發展に伴ひ交通量は増加の一途を辿り、現在すでに交通地獄を現出し困難を感じてゐるうへに今度廣島操作場の擴張により地下道の延長が約二倍の百六十メートルに増加するため、これでは發展も著しく阻害すると從來屢々幅員の擴張を要望して來たが、このほど關係町民二千六百一名におよぶ調印を取纏めたので去る二十二日朝府中、溫品、中山各町村長、矢賀、大洲南蟹屋、西蟹屋、荒神町各町總代および市會議員らが市役所を訪問三上土木、荒川都計兩部長とともに縣廳に知事および宮崎土木部長を訪ひ、道路法により鐵道省から地方長官により協議ある場合は幅員を十一メートルに改造することを條件として協議に應ぜられるやう要望した後、さらに福井廣島鐵道局長に對しては同地下道の福員を一メートルに擴張の大臣

あて陳情書を提出するとともに實施方を要望したが、これが實徵を期するため近く代表者が上京、直接鐵道大臣に陳情することとなつた。

四 國 地 方

高知縣の興亞奉公日に於ての道路美化作業

高知縣では第三回の興亞奉公日の十一月一日をトし幡多郡下三萬二千の道路愛護會員によびかけて道路愛護の勤労奉仕を郡下一齊に施行した。この日好天氣に恵まれて各町村小學校兒童等も參加し總數五萬人尊い勤勞の汗を流し支廳土木課では田上課長以下八方に飛んで督勵の下に郡下の道路網は一齊に清淨美化された。

九 州 地 方

別大國道の竣工と別中國 道の起工

佐賀縣早唐農民の道路改修効果

修撰

大分縣別府大分を結ぶ、別大國道改良工事は總工費百四十萬圓を投じ昭和七年八月着工以來滿七ヶ年二ヶ月を費してこのほど見事に竣工した、又別府中山香間三號國道改良工事は總工費百八十万圓、六ヶ年繼續事業としていよいよ施行されることとなつた。中山香町、豊岡町間延長一萬八千三百八十メートルは幅員七メートル五、別府市八千メートルは幅員九メートル

佐賀縣東松浦郡上場地方における旱害救濟対策の一助として總工費三萬五千圓をもつて町村道路の改修工事を行ひ被害農民を工事人夫として動員し農村の懷工合をよくする方針で呼子、佐志兩町、湊、名護屋、打上、有浦、入野、切木各村では十二月上旬一齊に着工することになり、各町村道の測量、設計を急ぎつゝあり工事竣工は明春三月末の豫定である。

百萬圓のほかにさらに三百萬圓の工事費を認められ合計六百萬圓の補助費を計上されることになった。これがため十五年度は全般にわたり各道地方費百二十萬圓と合して七百二十萬圓の產金道路工事が行はれるはずで、この延長七百二十キロ既設の道路四百八十キロと合して實に總延長千三百キロの產金道路が完成、產金送電線の架設と相俟つて產金増産に拍車をかける事になつた

朝鮮滿洲地方

満洲大連哈爾濱間の自動車道路の施工

トルは幅員十三メートル五で内籠、南石垣間の既修區間は路面鋪装をのみ施行、他は一層式コンクリート鋪装とする。日出町地内は新道路を設けるが他は現在の線を擴築する。またはこれに添つて改良を施す筈である。完成の曉は産業、軍事、文化上に多大の貢献をなすのはもちろんである。

朝鮮滿洲地方

朝鮮の産金道路の擴張

満洲大連哈爾濱間の自動車道路の施工

助し、殘る二割は地方費支辨で今年度までに四百八十キロを完成してゐるが、事業完